



司
公
普
信
局

復員
歸還輸送員

ニ
關
スル
情
報
記
録
(
第
一
號
)

後
馬
五
年

見

寫

海
陸
三
日
二

昭
和
二
十
二
年
一
月
十
五
日
田
中
集
團
司
令
部

✓

0758

本情報記録ハ乗船（上陸）地及輸送間
ノ狀況等ニ關シ其ノ實相把握ノ資ダラシ
ムル爲既ニ集團ニ於テ受領セル參考電報
ヲ収録セルモノナリ
集團ノ歸還輸送開始ニ伴ヒ逐次之ノ内容
ノ充實方企圖シアルニ飽ク迄參考トシテ
配布スヘキ趣旨ナル點ニ留意セラレ度

0759

上陸地ニ於ルル諸務漢ノ任務新置ス其ノ相互關係左ノ如シ

左記

機関名	配置	相互關係及其任務
西部復員監部	福岡 福見島	各地ニ於テ業務一服ヲ處理ス
上陸地支局	各産地埠頭	上陸地ニ於テ業務一服ヲ處理ス
上陸地支局業務部	各産地埠頭	上陸地ニ於テ復員業務ニ関シ總司念官職權ヲ代行シ西部復員監ノ区處ヲ受テ主トシ左記業務ヲ担任シ其他ヲ補助ス
支那道復員本部	福岡 福見島	一全錢給與 決算 留守業務ニ関ス事項 二人 貞岡係事務員
支那道復員本部	福岡 福見島	復員本部所謂出張所ニシテ右業務一部ヲ掌シ
博多連絡班	博多 多	博多埠頭ニ位置シ復員本部ト上陸部隊ト連絡シ

町

三 總參一電第凡七五號 (青島ニ於ケル乘船時ノモ)

一 荷物乘船前日午前中、コックス工場ニ於テ三〇〇〇名約ニ時間乃至ニ時間半ヲ以テ送還シ、
實施極々テ友好的ナリ

乘船前日八朝、コックス工場ヨリ列車ニ依リ埠頭又負荷物其輸送身体検査等々
後乘船者名簿ト照合セテ乗船セシムル、爾ノ行動ハ總司官軍ノ指示ニ依リ日本軍旗意行
動ニ許サズ嚴正實施乘船翌日早朝出發ス

(二) 各船ニ乗クモ英語通譯一名ヲ配スルヲ要求セラレアルヲ以テロコト名ニ付ルヲモ一名通譯要員ヲ各部隊ニ於テ選定準備シ置クヲ要ス

(三) 聯合國側ヨリノ要求ニ基キ乗船者名簿ニ乗船四日以前迄ニ各關係機關ニ提考シ命セラル

アリ兼船部隊ハ青島集中迄ニ邦文及英文各六部乗船者名簿ヲ制作青島到着ト共ニ青島復員部ニ提考スシラレ度本國公使連ナル輸送開始ニ因リ各部隊提考書

トナル為乗船直前不許可セリタル者アリテ補遺難ク成リタル等事作製要員公知シ

内容ハ所屬部隊官兵名振假名ヲ附ス年令トシ臨時分割シ得ル如ク概ネ中隊単位ト

ト自軍本軍屬隊別トシテ非製考スラ度

(四) 荷物検査及身體検査時ニ於テ是等隊員ナル指揮行跡及公明ナル態度乘船時ニ際シ信

頼感ヲ與ヘアリテ其ノ検査又神士的友好的ナリ帰還部隊ノ検査ニ対シ誠意アル態度ヲ

切望ス 携行荷物行跡個小型手提一個圖嚢一個程度ヲ可トシ内容品公意ニ自軍モ

高價品有リテハ海軍ニ比シ陸軍ノ負弱ナルニ爲マリ之ガ爲携行数量少クシテ押帳簿中

リ許可制限ニ到ラズル如ク補填ニ未ダ如キ親切ナルモノナリ

居留家務若シ中國側全體トナリ実地ニアリテ軍中此ニ酷ナルモノ受檢態度又不良ニシテ

布團巾ニ毛糸ヲ入レテ者銀券ヲ所持セシ者種類多水筒ニ入レタル者等アリテ検査官

感情也善也此等眞情アリ

三、總參一電第一〇五號

(本件ハ北支方面軍ヨリ先遣セラレタル參謀、
體験ニ基クモノナリ)

(一) L.S.T. 下内ハ收容場所數箇所打切りニシテ換氣ハ殆ドナク一平方米ニ携行シ何

物ヲ含ミ概ネ二人ノ割合ナリ

(二) 米單ヨリ炊爨給與セラルト殆ドナク偶々セラルルニ極少量ニシテ副食ハ梅干ノ
ミナルヲ以テ船内ニ枱集積シ精米ノ外各自乾パン、パン等副食調味料ヲ併
セ各人毎ニ乘船輸送間ノ日數ニ錨地所要量ヲ携帶セシムルヲ要ス

次ガ爲携行ニ關シ米單ニ對シ交渉セラルト共ニ「パン」モ一袋ノ内容ヲ充満セシムルカ
或ハ菓子等ノ代用品ヲ携行補足セシムルヲ要ス

尚落花生、スルメ、鯉節等ヲ携行セシニ益大ナルモノアリ副食物ニハ野菜肉
罐詰ヲ携行シ得ルノミニテ可ナリ

飲料水ハ相當不足スルヲ以テ節水ニ努メ且乘船時水筒ハ満水セシムルト共
ニ船内ニ於ケル分配ヲ適切ナラシムル如ク指導ヲ要ス

(三) 輸送間ノ發生患者ニ對スル部隊對策ニハ殆ト見ルベシモノナシ

衛生部員ノ船内ニ於ケル位置發生患者ノ收容位置診療等ハ計画的ニシテ
要ス

米單ノ患者ニ對スル取扱ハ總切ナル日以テ食事等密ニ連絡セシムルヲ要ス
衛生料ノ最近便ニ依ル格載特ニ逼迫シタル狀況ニ付規定量ヲ專ラ携行セシムル如ク
セラレ度

四、厠ハ甲板露天ニテナリニ製溝形ノ四名同時使用可能ナル程度ノモノヲ二個設置シアル

0762

ノミニ過ズ、所シテ之ガ補備トシテ石油箱改造ノ木製便器ヲ携行セシメクリシモ便器(一)
 殺市型ノ一人用便器ニ類似シタルモノヨトシト爲シ得トバ甲板上ニ簡易カニ遊蔽ヲ有スル所
 設置スル如ク衆國例ニ支非ヨラス
 右側設置セラレサル限り婦女子輸送ニ困難ナルト思ハラル
 (五) S.T.ニ直接増設頭者トナクLC.T.ニシテ名分衆衆セシメラル

0763

四、鹿兒島上陸地ニ於ケル後

(一) 日本船對スル連絡

一、舟艇ニ依リ速ニ縣支局海軍支那巡邏軍ヨリ連絡者ヲ派遣ス

二、米軍 訊問(訊問書記ニ記入スル程度)

三、飯郷方面別人負表、經理關係書類、授受

(二) 舟艇ニ依リ上陸

午前中ニ上陸セル船舶 概不即刻

午後入港セル船舶 翌朝ヨリ上陸開始

上陸順序ハ概不左記ニ依ル

一、遺骨死体(安置所等願者)

二、時ニ急ヲ要スル者

三、書類調定携ハルル者(主計將校及各部隊分任官)

四、残骸整理者及留守業務部派遣要員、先發者等

五、一般者

以上ノ順序ニ依リ概不四〇名宛舟艇ニ移乘シ上陸ス

(三) 埠頭ニ於ケル處理

一、檢疫(視診問診)及消毒

二、所持品検査

三、遺骨遺留品、授受要入院患者處創者ノ手配

各種衾衾材料等、送納

5. 部隊毎休止地ニ分進

(四) 中隊分任官等對シ金錢給付又輕患者收容

縣廳別館(埠頭ヨリ行軍ニ十分間)ニ於テ行ッ(關係者ノミ)

(五) 上陸地吏局生張所ニ於ケル處理(關係者ノミ)

書類、兵檢及業務指導

(六) 休止地(各國民學校等トシ行軍約十分乃至四十分)ニ於ケル處理

1. 各人ニ對スル金錢支給

2. 預金通帳等保護預リ

3. 給食及携帶糧食ノ交付

4. 復員式

5. 鉄道乘車券ノ交付

6. 方面別區分乘車驛ニ分進

(七) 飯郷輸送(復員列車發車時刻)

1. 上陸當日 十八時 品川行

2. 上陸翌日 九時 大阪行

十三時 大阪行

(八) 各軍兵團先發、殘勢整理者等ノ關係書類ヲ全部携行シ速カニ復員本部(一日市町)ニ送
頭ノ

九 参考事項

米軍ノ注意

部隊ヲ離レ單獨行動ヲ為スルモノハ射殺ス

埠頭ヨリ患者及荷物ハ自動車ニ依リ輸送ス

船内ニ於テコレレ患者發生セル場合ハ上陸スルコトナク佐世保ニ廻航セラルル事

0766

五 佐世保上陸地ニ於ケル参考(本件ハ北支方面軍ヨリ内地ニ止在遣セラレタル參謀ニ体験ニ基ク参考ナリ)

(一) 檢疫及検査並ニ宿營等

上陸セ直ニ檢疫(着裝被服ノ消毒檢身)シ物品検査禁制品携行ノ有無ヲ末トス終リテ約七料ノ進行(將校行李、公用行李、及步行困難ナルモノハ貨物自動車ニテ輸送ス)ノ後針尾村日海兵團宿舎ニ收容ス上、運時鉄道輸送ニ依リ飯郷セシム

右輸送ハ概ネ順調ニ配車ヲ具施セラレアリ

上陸後鉄道輸送迄ニ至ル間、業務ハ米軍監視ノ下ニ大部ヲ上陸地支局ニ於テ一部金錢給與ハ復員出張所ニ於テ爲シアリ

(二) 復員ニ關スル諸書類ハ復員出張所ニ於テ受理點檢上陸地支局ニ送附シアリ

上

0767

六、博多至陸地 旅立復員部隊、復員要領

(一) 入港時 旅立連絡

入港船 対応連絡 舟艇 依り速カ左記、看ヲ派遣セシ

1. 上陸地 支向

部長君、其代理者(全船統轄連絡) 船相掛 復員掛 公其掛 執道

2. 博多連絡班

給食掛、衣糧掛、人員掛

(右、単ニ同行トシ所要ニ應ニ更ニ級者出迎ニコトアリ)

(二) 検査

検査醫官 入港船ニ乗込ニ 要員配ス 所要ニ應ニ 検査便接種等 進行ニルモ 米船前線

ニ於テ 處置良好ニシテ 且之ヲ 證明シ 介傷合 間多程 然テ 簡単ニ行ハル

(三) 接岸上陸

(以下 歸郷ニ至ル迄) 誘導ハ 凡テ 業務部 主任者 兼由ニ依ル

(四) 米軍検問

荷物、各個人ニ於テ 全部ヲ 携行 検問ヲ 受 検査所ニ 陸地駐留 約 30 米ニ在リ 検査ハ 毎

日九時ヨリ 支時迄、間、ミニ行ハル

(五) 要入隊員者、引継ぎ隊 備軍部員 引揚等

(六) 金錢給與 諸證明書、交付 及 首領等

1. 首領上、注意

2. 毛巾被服燃料運入貸與又支給

3. 食料分配

4. 金錢給付

5. 各種書類照檢受領

6. 支店長後抄總司令官代理後抄(以際部隊側迄取取復員式を行)

7. 復員證明書(從軍證明書)の交付(但未所持者)

8. 携帶糧秣外食券の交付

9. 無貨乘車券の交付(未乘車者所持セザル乘車不能ニ付注意ヲ要ス)

10. 南上陸地首長國民學校等(分宿)二個所約五五三三港(宿舎八〇〇〇ナリ)

(七) 乘車本数

参考事項
1. 上陸後首長之混雜ニ以テ現在(港滿日船内)泊シ以向ニ於テ一切ト處理ヲ要ス

2. 乘車地英及列車ノ運行狀況

九州内

上陸地英及列車ノ運行狀況
上陸地英及列車ノ運行狀況ニ混雜極ニ大ナリ

本士方面
上陸地英及列車ノ運行狀況ニ混雜極ニ大ナリ

更ニ臨時列車ヲ増設ス尚全般ノ鉄道輸送ハ石炭缺乏ノ為テ極限的縮小状態

更ニ臨時列車ヲ増設ス尚全般ノ鉄道輸送ハ石炭缺乏ノ為テ極限的縮小状態

七、支復總電第六七號 要旨

(一) 従来、軍保有糧秣ハ全量内務省(継承移管セラルル)爲西部軍其他ノ部隊ニ保有旨
共ニシテ將來ニ取付得、現在極メテ困難視セラルルモ各上陸地支局ハ復員部隊ノ上陸日数
留間給養ニ差向支出程度ノ糧秣ヲ保有シアリ
尚飯郷用糧食ハ各支局ニ於テ飯郷地ニ應ジ握リ飯乾麵麩米外食券等混用支
給シアリ

(二) 復員本部所要糧秣ハ一般配給ノ外西部軍並其他ノ部隊及朝鮮軍後發整理班等
ヨリ各別ノ配慮ニ依リ漸ク充足シル迄ノ發發整理者、激増ヲ予想シラルル折復員部
隊返納糧秣ニ期待ノ外ナキ現状ナリ之カ爲乘船地ニ於テ積込糧秣各人携帶用ヲ除ク
ノ努メテ多量積載セシメ必ズ復員本部宛、送達ヲ輸送指揮官ニ交付携行セシメ
ラレ度

(三) 北支方面、飯還部隊ハ概シテ復員規定所持被服ヲ著裝シ良好ナルモ比島方面諸部
隊ハ俘虜被服ヲ著裝スルノミニシテ一部上陸時返納ヲ命ゼラレ裸体ニテ上陸スルモノアリ
ニ同情ニ堪ヘズ、而シテ支局、準備被服モ極メテ逼迫シアリテ整備不始急ノ現狀ナリ
遺軍以外飯還部隊、所持品一部ヲ引上南方飯還部隊ニ充當スルノ必要アリト
△目下研究中ナリ

(四) 事務用滞在品ハ支局ヨリ交付受テ且中品ヲ調辦シタルモ全々各般ノ要求ニ充
得タルヲ將來、飯還部隊ニ發發整理所需品ヲ携行スル如ク指導シテ
レ特ニインシク先ニ筆等不足シアリ

八 總參一電第一九五號 要旨

復員本部ヨリ上記要請アリクル付指導配慮アリ度尚復員本部ハ宿營給養衛生不備及人員不足等環境ヲ克服在華將兵居留民爲熱誠リカシアリ

左記

一 飯還者ニシテ本人又ハ尙納官吏不注意ニ依リ給與通報通員交換證明書ヲ紛失又ハ燒却セルモノ尠カラスシテ給與上困惑ニアルニ付注意ヲ喚起セラレ度

二 飯還部隊ノ經理關係者特ニ尙納官吏ニシテ責任觀念祛除シ業務完遂ノ熱意トモナリ出發前上官ニ於テ指導アリ度

三 復員本部主令食保有量極メテ貧弱ナリ

四 國內食糧事情ニ鑑ミ飯還輸送ニ未ヨリ多量ノ運送ヲ熱望ス

九 總參三電第九四〇號

復員本部要員等ノ多儀ヲ以テスル老弱ハ聯合兩側ヨリ認可セラレラザル付患者

居留民ノ世話係又ハ老弱歸還部隊員トシテ出發セシムル如ク處置アリ度

十 支復總電第一九五號

上陸地支局ニ直接出頭シ支那派遣軍復員規定未傳達ノ爲誤リテ召集解除セラレタ
ルヲ理由トシ部隊長中復員本部ニ出頭セサル者、出頭スルモ無断飯郷スル者等アリ
ルヲ以テ注意アリ度

支復總電第九五號

復員規定第七條第九條第十條ニ據ル派遣要員中ニ熱意極メテ之
ニシテ或ハ經歷健康其地關係上適任ト認難ク甚ダシハ程々口實ヲ設ケテ

0771

版郷ヲ願ケルモノスラアリ誠ニ遺憾ニ堪エズ自今要員ノ選定ニ特ニ留意セラル、如ク指導
アリ度尚既ニ派遣セラレタル者ニ就テハ其ノ重要員ヲ自覺セシムルト共ニ恩ヲ幽因下未級還
戰友ニ致シメ家族ノ不遇等過度ニ焦慮スルコトナク一意職責完遂ニ邁進セシムル如ク
懇切ニ指導シムアルモ到底其ノ任ニ堪エズト認ムルニ於テハ公ニ得又離任版郷セシメ要スレ
バ代人ノ派遣ヲ依頼致スベキトアルニ付諒承アリ度

0772

十二 支復總覽第九号

(一) 一般帰還邦人引揚掩護局局長在縣知事兼任也。此際、省管長給展期送還手続ヲ為シ、並頭事務所、對縣台、湾、連、綿、縣、公、務、人、及、別、有、志、者、成、立、派、掛、許、可、セ、ル

(二) 於渡

米遣検査手続、軍隊要領、圖

(三) 乘車

本上及九州、輸送区分、無償米遣券(引揚證書)ヲ交付シ、自由行動許可セリ

(米遣券、旅費、分、別、三、種、ニ、大、凡、指、定、セ、ル)

十三 總覽三龍第九号

在留邦人、内地、上陸後、處、置、三、因、疑、向、向、ア、リ、三、付、中、央、總、務、省、一、處、在、通、關、答、ア、リ、三、付、承、知、ア、リ、也

(一) 帰還輸送先決是、凡、三、上、陸、後、直、ニ、出、發、シ、テ、有、特、別、輸、送、区、分、高、長、調、製、ス

(二) 内地、上陸後、措置、直、ニ、省、引、揚、掩、護、局、及、戦、火、掩、護、会、三、外、務、省、自、計、官、在、外、同、胞、掩、護、会、等、於、テ、處、理、シ、テ、進、補、事項、ト、シ、テ、米、服、者、在、海、三、部、ヲ、携、行、セ、ム、ト、也

十四 支復總覽第九号

輸送区、外、他、國、係、三、依、リ、主、力、分、離、シ、テ、帰、還、ス、独、立、部、隊、内、一、部、人、員、及、單、独、三、分、三、出、發、時、三、除、隊、召、集、解、除、者、達、在、海、三、部、戰、時、名、簿、ヲ、携、行、セ、ル、如、ク、速、カ、ニ、徹、底、セ、ル

七、支、復、規、定、第、十、五、條、第、四、條、參、照、シ

十五 支復總覽第九号

(一) 部隊一部、人員ニテ戰時名簿ヲ携行セザルモ、依然跡ヲ絶テセヨ以テ原指道アリ
(二) 八月二十日附、進級ノ余儀ナリ處理シテサル部隊(特ニ軍隊区分キ)ニ付指道アリ
(三) 部隊召集解除者連名簿ニ地方自治部ノ取取ヲ容易ナラシムル爲ニ適宜徵集年任
官手欄ヲ設ケ、該簿事項ヲ記入セシメラレタ

(四) 内地部隊八十二月日附ヲ以テ全部復員シ同日以後ノ還送患者ノ關係病院
收容、日ヲ以テ除隊(召集解除)トシキヲ以テ還送患者連名簿ハ三部ヲ復員
本部ニ提出シ且該簿ハ除隊召集解除者連名簿ハ必用ヲ爲サズ爲ニ官等級欄
ハ「徵集(任意)役種(兵種)官等級」ニ收容年月日欄ハ「收容(除隊)召集解除
年月日」ニ相當スル如ク指道アリ

(五) 復員時粗漏ニ進級ノ通知從軍證明書、斯全通帳、預リ證、事故等人員
解散後ニ於テ依頼スル部隊アリ、尚指定セ同復員準備、粗漏ノ後悔セル現況
ニ鑑ミ一層、指道ヲ相煩ハス

十六 支復總覽(四三節)

戰時名簿ヲ携行セザルモ、依然跡ヲ絶テセヨ以テ原指道アリ
進而將隊員ノ兵籍焼失ノ現況ニ於テハ戰時名簿ハ絕對ニ必要ニシテ且部隊解散後、調
製ハ極メテ困難ニ付承知セシメ度、尚院患者若クハ部隊一部人員ニテ戰時名簿ハ目下本部
ニ於テ保管シ置キ申シタル者モ信ヲ置キ難ク從ヒ重復スルモ差支ナキ付、帰還者
ニハ必ズ之ヲ携行セシメ度、尚復員關係書類ヲ携行シテハ任務整理者アリ、苟モ任務整理
者ニ復員關係書類ヲ携行セザルカハ、皆無シテハ様廠ニ指導セシメ度

十七支復總電第二九拜

(一)九州ニ於ケル兵器解体及彈藥處理作業ハ資源回收上國家トシテ重大事ナルニモ均ラス技術並ニ勞力ノ目途立タズ放置ノ状態ニテ聯合軍ヨリモ執拗ナル督促アリテ關係官廳モ因却シアル現況ナリ

(二)在外部隊特ニ支那台灣佛印將兵ノ内地歸還後ノ取扱ヘスノ就職トシテ極メテ有利ト思考ス關係機關トモ折衝シ努メテ復員軍人ヲ活用シテ本作業遂行ヲ期スヘク準備中ナリ待遇宿營休養等モ十分配慮セラレ且本作業ト併行シテ開墾澳務土木建築鑛山開採其他ノ事業促進シ此種ノ事業開始當初ノ經營ノ困難性ヲ完服スルト共ニ本作業終了後ノ失業ヲ絶無ナラシムル如ク配慮シアリ

(三)為シ得六兵器關係部隊ヲ優先的ニ内地ニ輸送シ速カニ努メテ多ク本作業に従事セシムルト共ニ一般部隊ヨリモ大量ヲ輸送スル如ク格別ノ配慮賜リ度
佐官以下ノ就職ヲ歡迎シ將來性ニハ不安ナキモノト判断ス

十八總參電第九一拜

(一)内地陸軍病院ハ十二月一日以降軍事保護院療養所トナリ厚生省管下ノ醫務官管理部之ヲ統轄ス

(二)還送患者ハ總テ上陸ノ日ヲ以テ轉送除隊、召集解除スルモノニ付還送數次ニ且ル場合ハ各一部毎ニ關係書類ヲ復員本部ニ提出スヘキモノトス

(三)西部復員管内ニ於ケル患者收容系統等左ノ如シ

0775

十九 支復總電第ニ〇九號

歸還將兵、動靜ヲ見ルニ内地、上陸第一歩ト共ニ多年戰野ニ養ヒ美德ヲ忘却シ或ハ排他
利己ニ奔リ或ハ物慾ニ惰スルモノカラスシテ軍需品、橫流闇商甚クシテ強盜ハ轉化ヲ
見ルノ狀況ニアリ、翻テ國內情勢ニ思ヲ馳スル、秋收遣軍將兵ニ期待スル所願ル大ナル拘
ラズ事態斯クノ如クニハ皇國ノ前途ニ関シ暗騰タル感ナキヲ得ズ、今後歸還將兵ヲシテ
尚一層時代ノ響キヲ深刻ニ把握セシメ動モスレバ経歴、戰功等既往ニ加セントスル精神
ヲ一擲シテ全ク白紙ニ還元シ且軍人ニ對スル世評ニ自卑スルコトナリ特ニ上陸第一歩ヨリ
勤勞意欲ト共栄道義ニ燃ユル國家再建、戰士タリ得ル如ク格段ノ指導ヲ加ヘシ
シコトヲ希念シテ止マズ

(了)

0777